

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④ 『夏休みの子どもたちの学習会』

夏休みとなり、子どもたちの学習会が行われています。教育委員会・ロータリークラブ・地域学校協働本部が主催しており、様々な学習が展開されています。31日(月)、萱津(あま市)の歴史について子どもたちに語る機会がありました。日本武尊と萱津とのかかわり。萱津にやってきたヤマトタケルに地元の人たちが香の物を出して接待し、「藪に香の物」と言って喜ばれたこと。このことが「香の物祭り」の始まりとなっていることをお話しました。ヤマトタケルは西日本の実力者熊襲建(クマソタケル)をやぶり、また東日本では草薙剣(くさなぎのつるぎ)で相手に勝つことができ、古代日本の統一の英雄です。萱津でヤマトタケルは恋人の宮津姫と会おうとしますが、会うことが出来ず「阿波手の森」と言われ、一生の別れとなってしまったこともお話しました。ヤマトタケルが私たちの近くにやってきて、伊吹山で神の罨にはまり、命を落とすことになった話も付け加えました。

5日には、津島市観光交流センターで「第22回天王子ども塾」に参加しました。津島市・愛西市の魅力を発見し、イラストに描くことを行いました。子どもたちは蓮の花の絵を丁寧に描いていました。私は展示してあった『大英博物館所蔵 津島祭図屏風(写)』を使って、祭りの様子、その当時の津島の街について絵解きをしてみました。また6日には、愛西市文化会館で津島市・愛西市教育委員会による『祭りを学ぶ』に出席しました。この学習会は「尾張津島天王祭」の伝統の継承と理解のために毎年行われています。二つの市の子どもたち35人程度が参加しています。祭りの歴史と体験学習が内容となっています。長い歴史のある祭りですから、しっかり理解してほしいと思います。

夏休みは、広島・長崎の原爆忌と終戦記念日があり「平和」について考える季節となっています。テレビ番組や歴史資料館・博物館で行われる企画展に関心をもって下さい。身近にある「忠魂碑」や護国神社、軍事施設(飛行場跡や防空壕、高射砲跡)なども見学してほしいと思います。戦争で亡くなった人たちのことを思い出し、弔意の気持ちをもつ月としてください。

令和5年8月7日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視